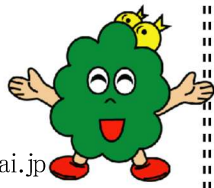


# 笑顔



実習を終えて... フォレストすまやかクラブ便り

現場実習は私にとって初めての体験ばかりでした。どのように行動すればいいのか分からず不安に感じた事もありました。しかし、そんな時には、利用者、地域サロン、民生委員、スタッフの皆さん等、沢山の方に声を掛けて頂きました。その優しい言葉やご指導があったおかげで楽しく、有意義な実習にすることが出来ました。実習で出会った全ての皆様に感謝です。本当にありがとうございました。

この現場実習で、色々な所に行きながら聞いて大切だと感じた事は、相手の話に耳も心も傾ける姿勢です。『真剣に穏やかに話を聞いてもらえる事で、こんなに安心する事が出来る』という事を目の当たりにする事が出来ました。いつか私もやすらぎの森の方達のように、笑顔を絶やさず、安心して話をしてもらえるような人間になりたいです。



熊本学園大学 社会福祉学部  
第二部 社会福祉学科 三年  
浅山 真理子

杏仁会秋祭り  
(10月2日)



おそろいのベストで参加しました~o(\*^▽^\*)o♪

バスツアー  
(11月30日)

★慰安旅行(バスツアー)に行きました。

行きのバスの中、俵山の近くでは、車外の雄大な景色とスキの眺めに興奮しながら、久木野の竹楽亭に着きました。温泉は、ぬるめの湯と温かめの湯の2種類と、戸外にサウナと露天風呂がありました。落ち葉が風呂に浮かび、とっても秋の風情を楽しむことができました。田代会長の挨拶の後、柿山さんの乾杯で宴がスタート。刺身に馬刺し

産業道路を横断中!!



ウォーキング  
(10月28日)



ハイ、チーズ!



(副会長 山口節二)

★編集後記★

明けましておめでとうございます。今年初めの「笑顔」では認知症公開講座や認知症サポーターリーダー準備研修会等の記事を書かせていただきました。本年も包括支援センターやすらぎの森が託麻原校区、帯山西校区の地域の方々とともに住みなれた街で皆様がいきいきと暮らせるお手伝いが出来ればと思っております。今年も何卒宜しくお願いいたします。

森 綾子



## 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。昨年中はお世話になりました。今年も宜しくお願いいたします。

昨年は年明け一月の「第一回認知症公開講座」に始まり、多忙な一年を予定させました。予想通り息つく暇もない一年でございました。地域の方では民生委員さんを始め、事業所さん方の参加による「地域研修会」の開催も軌道に乗り、新たな試みとして認知症関係では前述の「認知症公開講座」を二回、事例検討会を二回、そして認知症サポーターリーダー養成準備研修の開催、さらに熊本市社会福祉協議会の主催となる座談会にも参加させていただきました。地域の幅広いご意見をお聞きすることが出来ました。特に二回にわたる「認知症公開講座」では総勢八百人あまりの方々に来ていただき成功裏に終わりました。熊本県や熊本市のお力もお借りしながらも、地域の皆様や介護保険の事業所様の方々のお陰であると強く感じているとござります。

さて、今年は、これまでの活動をより具体的に進めてまいりたいと思っております。地域の皆様方には「ほうかつちゃん」こと、やすらぎの森をより知っていただき、より活用していただければと存じます。認知症の方々の支援の仕組みを創り、その他高齢者の自主グループの発展のお手伝いも続けていきたいと思っております。今年も何卒、宜しくお願い申し上げます。

(センター長 那須 久史)





# 認知症公開講座

十一月二十五日（木）にくまもと県民交流館パレアにて、熊本学園大学・やすらぎの森・くまもと青明病院主催で「第二回認知症公開講座」を開催致しました。三百十二名の定員でしたが、三百五十九名の方に参加していただき大盛況でした。今回は、**若年性認知症と地域づくり**をテーマに、二部構成で行いました。

前半部分は、三人のパネラー（熊本県認知症対策・地域ケア推進課課長補佐の野尾氏、特定非営利活動法人たまな散歩道・デイサービスわだち理事長の西村氏、山鹿市地域包括支援センター係長の佐藤氏）から各々の立場で若年性認知症の人の現状や現場での実践等を発表していただきました。それを受けて、熊本学園大学の准教授である黒木先生に座長を務めていただき、パネルディスカッションを行いました。**若年性認知症の人とその家族が抱えている課題や今後の方策等の議論が活発に行われ**、加えてくまもと青明病院の副院長である上田先生にも助言者として参加していただき、医療の立場からアドバイスを頂きました。

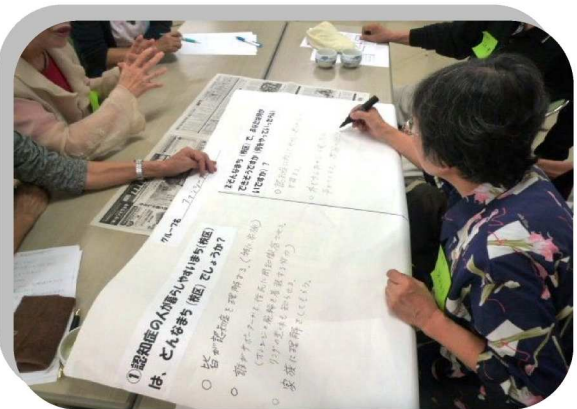
後半部分では、大牟田市にある社会福祉法人東翔会グループホームふあみりのホーム長である大谷るみ子氏より、「**認知症の人が生きること**を地域で支える」というテーマで、講演をしていただきました。認知症のケアに関することや、地域での活動内容等の話をしていただき、とても参考になるとともに、感動いたしました。今後は、大牟田市での取り組み等を参考に、託麻原校区・帯山西校区でも認知症の人とその家族を地域で支えていく取り組みを行っていかうと思っております。

## 認知症サポーターリーダー養成準備研修会を開催しました！

十月三日、フォレスト熊本にて認知症サポーターリーダー養成準備研修会が開催されました。今回の研修会では認知症サポーター養成講座を受講された方を対象に託麻原校区、帯山西校区の校区社協、民生委員の方々や校区内の事業所の方に多数ご参加いただきました。

講師の稲富慎一氏（山鹿市地域包括支援センター）より山鹿市での認知症サポーター作りのお話を紹介していただきました。その後、認知症の方が暮らしやすい街にするために**自分達ができること**をグループワークしていただきました。「**向かい三軒西隣**」「**縁側**」の復活など**いろいろな意見が活発に出されました**。

平成二十三年度は具体的に、認知症サポーターリーダー研修会を開催していく予定です。皆様のご参加是非お待ちしております。



## 帯山西校区社協計画策定の為の座談会を行いました

昨年十一月に「誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり」に向けての座談会を実施いたしました。内容は座談会を二回行い、その中から地域課題を探っていく、というものです。延べ一〇〇名の方々に集まりいただき、誠にありがとうございました。

帯山西校区における課題、それを解決するための方法などが数多く挙げられ、現在、それらをまとめている途中です。

地域住民の方々が一歩踏み出して、地域活動に参加されると、より住みやすい「帯山西」になっていくと感じています。

この後、この意見を基に、校区社協の計画などに活かしていく予定です。本会も災害時要援護者支援事業などで地域の方々に支援するために努力しております。やすらぎの森を初め、地域を支援する団体と協働して、頑張っていきますので、どうか宜しくお願い致します。

熊本市社会福祉協議会

大淵 健一朗

